

## サービスの価値は

むろだて  
室館

いざお  
勲

## 自分自身で決まる

株式会社 潮流社 代表取締役社長  
株式会社 キリアアソシエーツ 代表取締役社長

日本を背負っていくリーダーを輩出するために、株式会社キャリアコンサルティングを設立。社会人は19,800円、大学生は半額の9,900円の月謝をいただき、リーダーシップを学ぶ場を提供しています。設立から約20年、リーダーシップの基礎を身につける教育カリキュラム「しがく式」を導入してから丸11年が経ちますが、各分野で圧倒的な活躍をする社会人が数多く生まれてきました。大学生のうちから学んで社会に出ていく方々も、内定者代表スピーチや新入社員代表スピーチ、新人賞や最年少での昇進など数えきれない吉報が届いています。

これらの実績もあり、十分に自信を持って提供しているサービスでしたので「就活キャンパスプレスタ」に通う大学生にもぜひしがく式を学んでいただきたいと思います。

い、入会を勧めてきましたがここ数年様子が変わってきました。

コロナ禍がどこまで影響しているか定かではありませんが、大学生が無料でサービスを受けられることに慣れてしまい、少しでもお金がかかることに対して拒否反応を示すことが増えてきたのです。社員が少しでもしがくへの入会を促すと「怪しい」「有料に導かれる」とインターネット上に書きこむ学生も出てきて困っていました。

サービスには絶対的な自信がありました。世間の声を無視してばかりもいられないと思います、しがく式をアレンジして大学生には完全無料で学びながら就活ができるサービス「プレスタPlus」を開発し、1年前にスタートしました。2023年6月にまずは東京八王子オフィスで導入。9月には福岡オフィスでサービスをスタートさせました。結果として非常に好評をいただき、2024年3月からは東京本社でもサービスを導入することを決断しました。無料で確実に能力が身につくサービスであるため、本社でも多くの学生が学ぶだけではなく、たくさんのご友人を紹介していただき、3月、4月、5月と3カ月で600名の大学生が新たに学び始めています。予想を大きく上回り、あまりにも多くの方に来ていただいているので意欲のある大学生には大変申し訳ないですが、入会制限をかけなければいけない状

況です。

主に、学んでいただくのは大学3年生と4年生の方が中心で、サービ스에 満足していただけると2年生や3年生の後輩をご紹介いただけます。満足といてもただ厳しいだけの指導で能力を向上させるカリキュラムでは、紹介したいと思っただくことはできません。もちろん、ある程度難しい課題やレベルの高い内容も教えますが、しがく式の特徴でもある「面白くってタメになる」学びを目指して、笑いも交えながら、実力をつけていけるようにサービ스를構築しています。

その中の一環として、年に数回、学びに来ている大学3年生の中から8名を選抜して私との食事を開催しています。お昼の場合と夜の場合がありますが、2〜3時間、食事をともにします。大学生の満足度も非常に高く、現場社員からは多くの学生と食事をしてほしいという依頼が後を絶ちません。ただ食事をするだけではなく、学生8名の自己紹介を聞き、それぞれの内容を深堀りします。ときには3時間経っても全員の自己紹介が終わっていないこともあるくらい、あつという間に時間が過ぎてしまいます。

出身地に始まり、部活動、趣味など、話していただいたことを興味深く質問し、笑いを交えながらそれぞれが会の主人公になるように意識しています。30歳ほど年

下の大学生に対して真剣に話を聞いて盛り上げ、ときには歴史や世界の話をしたりすることで「面白くってタメになる」時間を提供しています。質疑応答でも、少しでも成長してもらうために、さまざまな角度から話を展開し「来て良かった」と思っただけでももらえるように心がけています。学生からはよく「私たちと同じ目線に立って話を聞いてくれた」「わかりやすく話してくれた」「とても楽しい時間だった」「スケールの大きい話がタメになった」といった感想をいただきます。

「こんな大人に今まで出会ったことがない」と思ってもらうことを目標に毎回臨んでいるので、常に真剣勝負です。もし私がそこで会う価値がない人間だと思われてしまえば、どれだけサービスが良くても口コミは広がらず、社員にも迷惑をかけてしまいます。そうならないために日々学び、最高の状態で学生に会えるようにしています。テレビや本、インターネットなど、あらゆる分野から学び続けることで学生に喜んでいただける時間を作ることができます。

社員も私と同じような想いで学生さんと接してくれているので、おかげさまで、多くのご友人を紹介してくれる学生さんが増えており、私もとても嬉しく思っています。無料のサービ스에 依存するのではなく「この人の作る環境に紹介したい」と言っただけのように、これからも学び続けていきたいと思っています。

